

みんなで話そう、これからのこと。

議会便り

No. 239

令和8年9月7日 発行

水鏡の心

中学生インタビュー特集 /

14歳、4年後 選挙に行きたくなる!

14歳の中学生が4年後18歳になったとき、選挙に行こうと思える議会報を届けることを目指しています。

今回は14歳である津南中等教育学校の4名へのインタビューをお届けします。

議 根津新町長に質問! 町長からも回答をいただきました。

小山…もっと津南町に観光客が来るにはどうしたら良いですか?

町 町単独で観光振興を進めるのではなく、複数の自治体や民間と連携する中で、良質な観光を磨き上げ、差別化を図る必要があります。

藤木…津南町に何か楽しい建物を造る予定はありますか?

町 総合振興計画に基づいて事業を進めており、現時点で楽しい建物を造る計画はありませんが、アイデアを教えていただければ嬉しいです。

吉野…人口減少をどのように解決していきますか?

町 人口減少を解決する特効薬はありませんが、津南を離れた子どもたちがいつでも安心して戻ってこられるような、まちづくりを進めます。

太田…津南町をどのようにしていきたいですか?

町 町民の皆さまから地域に誇りや愛着をもってもらい、外から見ても津南はちょっと違うな、元気だなと思ってもらえるような小さくても賑やかな町を目指してまいります。

議 根津新町長に要望はありますか?

小山…有名チェーン店などのファミレスが増えるといい。

要望を実現してほしい。

藤木…空き校舎がもったいない。

自由に遊べるようににしていきたい。

吉野…明るいまちにしてほしい。

藤木・吉野…デマンドバスは前日の予約で使いにくい。

太田…明るいまちがいい。フリースペースがない。外で遊ぶところがほしい。

全員…トップになると忙しいから身体を大事にしてほしい。

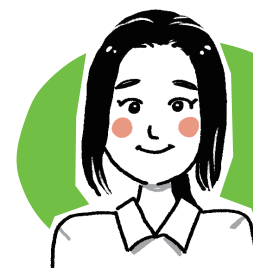
町長が楽しみながら笑顔でいてもらいたい。



OOTA HIROKI
太田 浩規さん



YOSHINO RUKA
吉野 瑠華さん



FUJIKI KARINA
藤木 香里那さん



KOYAMA AKO
小山 愛心さん

インタビューの感想

津南育ちのみんなが考える「今」とは

津南町で生まれ育っている4名の生徒さんに、のびのびとインタビューに答えていただきました。人口減少、空き校舎、デマンドバスなど、自分が同じ年代の頃には思いもよらなかった「今」を考える生徒さんに、ふるさと津南へ安心して「おかえりなさい」といつでも言える町でありたいと心から思いました。夏休み前の貴重なお時間をありがとうございました。(月岡・関谷)

表紙のカメラマン

桑原 龍弘 さん (津南町)

津南町中深見にある龍源寺の副住職をされています。歴史あるお寺の風景や、町内外の美しい光の陰影を捉えた写真が素晴らしいです。お寺のInstagramにはたくさん写真がアップされているのでぜひご覧ください!



@shinkenzen1582



TSUNAN TOWN
CONGRESS REPORT

発行：新潟県津南町議会 (責任者：議長 風巻光明)

編集：議会広報特別委員会 (滝沢萌子・筒井秀樹・月岡奈津子・村山郁夫・関谷一男・久保田等)

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585 TEL：025-765-5581(直通) FAX：025-765-4625



E-Mail



WebSite



Youtube



月岡奈津子 議員

これから津南町がコンパクトでありながらも町民の心配事がひとつずつ減って行く町になりますように。そして今後、誰もが経験したことのない予期せぬ出来事にも根津町長の長年の行政実務により培われた知恵と行動力を発揮し、その推進力で議会と共に前へと町の課題解決に向かい、町民福祉の向上へ向けた舵取りを担っていかれることを期待いたします。



総文福祉副委員長
滝沢萌子 議員

今の津南町が抱えている様々な課題を解決し、さらによりよい町にしていくためには正しい選択と実行力のあるリーダーが必要だと考えます。45年間の行政経験が津南町の今後のあり方をどのように変えていかれるのか、非常に楽しみにしています。また、議会側も両輪としての勤めを果たし、力強いまちづくりをしていくよう、共に努力して参りたいと思います。



村山郁夫 議員

根津和博新町長のご当選を心よりお祝い申し上げます。長年の行政経験と副町長としての確かな手腕に基づいた町政の継続・発展に期待しております。議会としても「共創」の姿勢で強固に連携し、持続可能な町づくりと地域課題の迅速な解決へ向け、全力で新町政を支えてまいります。



産業建設副委員長
関谷一男 議員

多くの町民の方から支持を受け当選された町長に心よりお祝いを申し上げます。町長は前町政を継続し改革を進める姿勢を強調されていました。これも大変大切なことだと考えます。また反面、根津町長らしさを出していくことも大切だと思います。対話を重ねスピード感をもって課題解決に取り組んでくださると信じています。町民の皆様も町長に大きな期待をされていることと思います。健康には十分に注意され、ご尽力ください。



産業建設委員長
久保田等 議員

根津町長は町づくりに「共創」「スピード感」「覚悟」をキーワードに掲げており、町民の期待は同様に「実行力ある改革」に向けられています。掲げている32項目の施策を「スピード感」を持って進めていくためには、議会との「共創」が不可欠です。45年の行政経験と培ってきた人脈を活かし、町の命綱である「医療・福祉・子育て・農業」を守る施策に期待します。



議会運営委員長
筒井秀樹 議員

根津町長就任、心よりお慶び申し上げます。所信表明で示された、ニューグリーンピアの譲渡完遂や医療・財政の立て直し、農業振興へのスピード感ある取り組みに期待しております。町の課題から逃げずに前へ進む決意に応え、町民の皆様の暮らしと未来を守るため、共に良いまちづくりに努めてまいりましょう。



議会運営副委員長
恩田稔 議員

3,149票という圧倒的な票は、選挙戦で述べてきたことが評価されたものであり、そのことに真正面から取り組み成果を上げなければなりません。しかし、そう簡単なことではないことも周知の事実であります。例えば公共施設の整理一つとっても、総論賛成・各論反対になります。どの施設も歴史があり、しがらみもありますが、大局に立って英断をしていただきたいと思います。



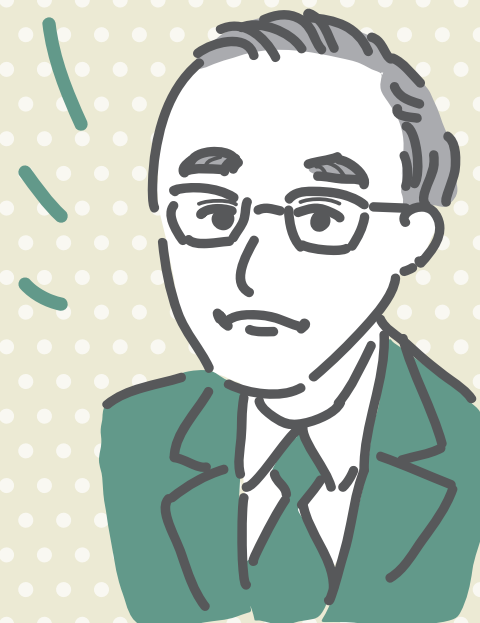
総文福祉委員長
桑原洋子 議員

住民に苦難を強いるような国の政策から、病院、福祉、介護の現場は経営が困難な状況。診療報酬の引き上げ、病床削減をやめ 医師、看護師などスタッフの増員確保に、住民の立場で国にものを言える町長であること。町の基幹産業を守る為、農業法人や小規模農業者の暮らしが成り立つ施策を国に強く要請できること。観光、企業誘致で若者が帰り活気ある町になる施策を新町長に期待します。



監査委員
吉野徹 議員

副町長としての豊富な経験を活かし、弱者の立場に立った政治と、取り組みや改革を停滞させない持続可能な町づくりを願っています。どんなに過疎化が進んでも、その場所に人がいる限り、可能性と夢を追う日々。信頼が薄れ記憶が途絶えた時、私たちはその場所から離れなければならないと思っています。顔の見える政治を。



新町長就任企画

根津新町長へ期待することは？

令和8年7月、根津町長が就任されました。

二代表制のもと、首長と議会は互いに独立・対等な立場にあり、政策の実現に向けて協力し合う関係を「車の両輪」に例えることがあります。ともにより良い津南町をつくっていくため、町長の所信表明(要約)と議員各位のメッセージをお届けします。

所信表明 【所信表明とは、町政運営に対する基本的な考えや方針を示すものです】

私は、町民の皆さまから託された期待と責任の重さを胸に、覚悟をもって町政の舵取りに取り組んでまいります。

津南町は今、人口減少や少子高齢化、ニュー・グリーンピア津南の民間譲渡、津南病院の経営改善、公共施設やインフラ、除排雪、空き家、教育、産業、財政など、多くの課題を抱えています。これらを先送りせず、町民・議会、国や県、民間の皆さまと力を合わせ、スピード感をもって取り組みます。持続可能な財政運営を基本に、若者がいつでも戻ってこられる環境づくり、安心して子どもを産み育てられる保育・教育環境の充実、地域活動の支援、農業基盤整備やスマート農業の推進などに取り組みます。また、人口が減少する中でも、町民一人ひとりが心身ともに豊かに暮らせる、ウェルビーイングが保たれる町を目指します。

先人が築いてきたふるさと津南をしっかりと守り、顔の見える関係を大切にしながら、「オール津南」で持続可能な町づくりを進めてまいります。



議長 風巻光明 議員

明治天皇の「五箇条の御誓文」の中で「広く会議を興し万機公論に決すべし」と公布し、これは「広く人材を集めて会議を行い、全て公正な意見によって決める」という意味である。また新憲法では「主権在民」と定められ「国の政治の決定権は国民である」。今までのことは記述しないが、この2つを肝に銘じ町政運営を行っていただきたい。



副議長 石田タマエ 議員

当選誠におめでとうございます。選挙公約にもありましたが、町民に丁寧な説明責任を果たして戴き、スピード感を持った町政運営を期待します。長い行政経験から、安定的な行政運営と確信しておりますが、時には、大鉈を振るう必要に迫られる時もあります。その時の英断とリーダーシップをご期待申し上げます。

一般 質 問

GENERAL
INTERPELLATION



筒井 秀樹 議員

・庁舎内ネットワーク整備に伴う窓口対応、働き方の刷新と、災害対策及び議会DXを見据えた今後の運用体制
・「ちようどいい田舎」を維持するための町内事業者支援

村山 郁夫 議員

・水田用水の渇水対策
・医療病院

関谷 一男 議員

・NGP津南譲渡
・小学校統合と保育園整備
・津南病院

久保田 等 議員

・渇水化対策
・ふるさと納税増対策（企業版含む）
・ふるさと住民登録制度の受け入れ準備

月岡 奈津子 議員

・苗場山麓ンオパークの再審査
・デジタルスタンブラー事業
・つなPO事業

吉野 徹 議員

・行政における実務理念

桑原 洋子 議員

・赤字理由に医療人件費削減の再建案で住民は困らないのか
・NGP津南、総括と教訓で新たな誘致を
・恒常化した農業用水の枯渇に対する渇水対策

滝沢 萌子 議員

・NGP津南の民間譲渡
・行政運営

石田 タマエ 議員

・NGP津南再生
・大地の芸術祭

筒井 秀樹 議員

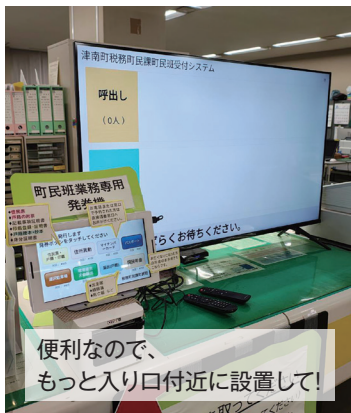


津南の未来のために、
今、できることを。

「庁舎ネット整備と
防災・議会DX」

問 新ネットワーク環境（庁舎内WiFiやフリーアドレス等）の導入を踏まえ、現在税務町民課で有効に機能している受付システムをより入口付近へ移動・設置し、来庁者への案内機能を強化することは技術的に可能か。あわせて、他部署への展開によるサービス向上、災害時の冗長化やリモートワークを見据えたBCP対応、二重投資を防ぎペーパーレス化を進める議会DX対応の3点を含め、一体として整備を進める考えがあるか伺う。

総務課長 受付システムは担当課に委ねている。議会DX対応はまず議会内での十分な議論を望む。



「「ちようどいい田舎」を
維持する事業者支援」

問 人口減少下での事業者支援について伺う。私自身、昔食べた懐かしい店の味が消えてしまった寂しさを実感しているが、一度失われた味やお店を復活させることは極めて困難であり、技術やレシピを継承できる「今」動かなければ手遅れになる。厳しい財政状況下でも、町内で愛される味を残す「津南の郷愁めし（仮称）」のように、地域おこしや事業承継と結びつけて「地域の核」として継承していく取り組みは、町外出身者が「いつでも帰って来られる」持続可能な地域づくりに直結すると思うが、町長の見解と意欲を伺う。

町長 思い出の食は私も持っている。何ができるのか検討させていたきたい。

村山 郁夫 議員



持続可能な
町づくりへの課題

「渇水対策」

問 ①県渇水対策調査の内容について②水利利用のソフト対策について③関係者の連携と対策について

町長 ①降雨状況、取水状況、貯水量、堆砂量、圃場保水力試験、土壌調査等を想定。②施設整備と営農技術の両面から渇水に対応した農業の実現に取り組む。③土地改良区、県、JAと節水型営農技術の普及や情報提供を進め、ICT機器利用促進に向けた補助事業を検討する。



「安心できる出産対策」

問 ①豪雪・中山間地の産科医療アクセス支援について②緊急時に医師の指示のもと医療機関へ搬送する事業の実績について

町長 ①令和10年度末までに県の新医療計画へ盛り込むよう働きかけていく。②現在1名が登録済み。

「病院と介護医療院」

問 ①町支出額3億円で病院を維持できるとした根拠について②介護医療院の試算について③広域的ニーズ調査について

町長 ①15億円程度の交付税措置額と同等の支出額は当面やむを得ない。平成29年の病院運営審議会答申でも、単独赤字補填額はこの額を当面の目標としている。②28床平均要介護3・稼働率7割で年間9,700万円の収入、経費合計1億5,200万円で単体収支は赤字だが、医療リソースを共用できるため病院会計としては6,200万円程度の黒字と試算する。③必要なニーズの把握に努め、経営改善に反映していく。

関谷 一男 議員



NGP津南譲渡の
今後の進行は

「今後どのように
進めるか」

問 前町長で解決できなかった民間への売却問題は、新町長体制で推進するとされた。これまで優先交渉権を付与した事業者と基本協定書を結び交渉を進めてきたが、協定書の解除を求める勧告決議案を3月議会でも可決し、町は事業者に解除を伝えた。この状況の中、新しく売却先を公募するには費用と時間がかかりすぎる。またこれまで交渉を進めていた事業者に後戻りすれば混乱延長の繰り返しになる。売却を進めるには、テーブルにあがっていたもう一方の事業者と締結することを前提に、早く協議を進めるべきと思うが伺う。

町長 本年3月に㈱イントランス社への売却反対および基本協定書の解除を求める勧告決議が可決され、町は同社との基本協定書を終了した。議会は民間譲渡に賛成であるため、引き続き民間譲渡の方向で進める。昨年購入意向書を提出したもう一社と先週面談を行い、意向を確認したところ、購入検討が可能であると確認した。条件を双方で確認し、売却に向けた交渉を前向きに進める。



「登下校用の
マイクロバスについて」

問 バスの運行で路線バスに影響が出ないか。上郷地区、芦ヶ崎線の利用は児童だけなのか伺う。

教育長 利用は小学校児童のみである。芦ヶ崎地区は朝、路線バスとスクールバスの2台同時運行とする。

久保田 等 議員

基幹産業である農業・農家をどう守る

「**洪水対策は待ったなし！**」

問 洪水対策をどう考えているか。

町長 今回の水不足は冬場の小雪による融雪水の減少に加え、河川流量やため池貯水量が例年を大きく下回ったことが主な要因と推察するが、今後も発生し得る新たな課題と認識している。対応は施設整備と営農技術の両面から講じることが重要である。中子ため池は健全性を把握し、必要に応じて堆積土砂の除去を検討していく。各地区のパイプラインや農業水利施設は計画的な補修・更新を行い、長寿命化と安定供給に努める。町単独では困難なため、国・県の補助事業

月岡 奈津子 議員

町の地域振興と持続的な発展を

「**苗場山麓ジオパークの再認定に向けて**」

問 ジオパーク認定商品「大地のたからもの」の活用等について、具体的な案や今後の予定はあるか。

ジオパーク推進室長 昨年度は「練馬まつり」「葛飾区産業フェア」「大田区ふれあいフェスタ」においてPR販売を実施した。今年度も同様に展開していく方針である。

問 貴重な体験型ジオサイトである「山伏山風穴」の修繕対応はどうなっているか。

町長 財源の確保を含め、有効な方策がないか検討を重ねている。

教育長 町にとっても重要な文化財であると認識している。財源確保が課題ではあるが、早期の修繕に向けて動きたい。

吉野 徹 議員

行政における実務管理を問う

「**審議会設置の可能性は**」

問 多くの町公共や観光施設や、売却を進めているNGP津南施設について法律で定められている審議会設置の考え方はどうか。

町長 NGP津南は、平成27年に津南町と現運営事業者との間で施設の賃貸借契約を締結した際、NGP津南の運営に関し必要事項の協議等を行うための協議会を設置する旨、覚書を取り交わした経緯がある。法律に基づくものではなく、お互いの協議による任意組織である。

問 数多くある町共有施設は、町民のための公の施設と思われ、売却を進めているNGP津南施設も同様の施設と思われる。NGP津南について公益性の立場からどのような提えているか。

町長 観光拠点の重要な施設と捉え、必要性は充分感じている。

問 本年度のNGP津南の関係予算について計上されていないが考え方は。

町長 今までもNGP津南に対してはかなりお金をかけて投資してきたことはご理解いただきたい。今年度はスキー場設備修繕について7年度から繰越した事業がある。

問 公共施設における指定管理者制度と議会関与の関係は。

町長 町では17ヶ所の施設で指定管理者制度を取り入れており、定期的な評価や点検・監査を実施している。管理者を指定するときは議会の議決を得る必要がある。

問 町不動産の取得・処分における議会関与について伺う。

町長 議会の議決に付すべき財産の取得・処分については金額700万以上、土地については1件5,000㎡以上のものに限る。

桑原 洋子 議員

小児科無くせば津南に住めない専門科残せ

「**津南病院経営強化プランと建替え検討せよ**」

問 赤字解消に向けた再建案として、10月からの小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、外科の診療科廃止は、人件費削減および収益増強のためと説明してきた。住民の「やめないでほしい」という声をどう受け止め、それでも改革を進めるのか。

町長 前町長の政策を継続し、在宅医療の強化や外来機能の見直しなど、病院改革を責任を持って実行していく。林院長とともに、医療資源の乏しい津南町の医療と病院を守る。

問 強化プランにおける医師・看護師の確保対策と、慈恵医大との連携強化について伺う。

町長 今年度から採用や人事管理を専門とする事務職員を新たに採

用し、医療スタッフ確保の取り組み強化を図っている。慈恵医大からは内科、整形外科、眼科など非常勤医師の派遣を継続していく。中止する診療科の患者対応については、内科、総合診療科、整形外科などで可能な範囲で処置し、専門的治療は高次病院へ確実に紹介できるようにする。

問 病院建て替えを検討の俎上に載せるべきではないか。

町長 大規模改修を基本方針としている。



建て替えの声を挙げて
明るい病院、明るい街に

桑原前町政の総括は不可欠だ

問 イントランスと契約成立後に支払うとした7,150万円が、交渉不成立にもかかわらず3月31日に支払われたのはなぜか。

町長 国の交付金の活用条件及び町民負担軽減のために支払わせて頂いた。



中子のため池

を活用しつつ津南郷土地改良区等と協議し、支援制度の創設・拡充を国・県へ要望していく。営農面では水管理の徹底が極めて重要である。畦畔管理、適正な代掻きや中干期間管理、自動給水等の無駄水防止が重要となる。自動給水栓や水位センサー等、ICTを活用した営農技術は節水と労力削減の両立が期待される。今後は町・県土地改良区・JA・農業者による「洪水対策チーム」を設置し、現場の知見を取り入れ水安定供給を図る。

「つなPO事業の展開」

問 町が予算を投入して実施している事業について、地域ポイント「つなPO」を活用した津南町らしい事業へと展開できないか。

町長 旅行者向けには参加しやすさを確保する必要があり、現状での「つなPO」の利用は参入障壁（ハードル）が高いと捉えている。町としては観光客にぜひカードを取得してもらい、再来訪へとつなげていきたい。

問 今年度のプレミアムポイントの発行実績と今後の対応はどうか。

観光地域づくり課長 早期完売を防ぐ目的で、1人当たりの購入限度額を低く設定した。今後の対応としては、1人当たりの購入上限額の引き上げを検討するとともに、移動販売も継続して実施していく。



老朽化が進む公共施設



滝沢 萌子 議員

NGP津南民間譲渡 今後の行方は？

今後の進行は？

問 民間譲渡は現在購入の意思を示しているもう一方の事業者と進めるのか。

町長 昨年、購入意向書を共同で提出された事業者と協議をしていく。

問 現運営会社の運営状況を踏まえて、7月中旬に方向性を決定する必要があると考えるが、どのようなスケジュールを予定しているか。

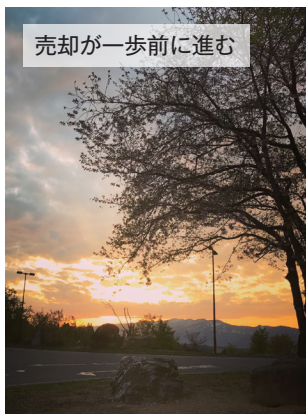
町長 民間譲渡にあたって、現運営会社の運営状況は注視している。お互いに諸条件を全て確認できていない現時点において、事業者も購入に対しての意思決定を明確にすることは難しいと考える。スケジュールについては未定だ。できるだけ早期売却に向けて協議を進めていきたいと述べるのが精一杯である。

問 今年中に目処をつけるといった答弁もあったが、どういう意味か。

町長 売却の契約までと考える。

問 協定書が必要な場合、コンサル費用7,150万円の業務の中に、契約書類等の業務もあったが、今回作らなくなったという予算になるか。

町長 協定書を作るかどうか決まっていない。売買の契約書に関しては弁護士費用500万円の中に含まれている。



売却が一步前に進む

役場の雰囲気づくり

問 役場内の雰囲気や職員の対応について改善してほしいという声が多く聞かえてくるが、町長としてどう捉え、どう対応、改善していくか。

町長 常に本場に町民のためになっているか、自問自答をし続け、社会の変化を恐れず自らを変革していく姿勢を心がけていく。



石田 タマエ 議員

7,150万円の 支払いは不適正では？

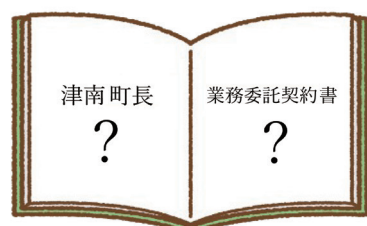
議会の申し入れを無視し 7,150万円支払う

問 仲介事業者への委託料支払いは、昨年5月の臨時議会（予算審議）での説明と仲介事業者との契約内容が異なっている。締結までの10日足らずの間に契約内容が異なったことについて町長の見解を問う。また、議会から「予算審議のとおり支払いするよう」申し入れを行ったにもかかわらず無視し、さらに議会へ説明なく支払いを行ったことは議会軽視と受け取れるが、その経緯と町長の見解を問う。

町長 相手事業者との協議の合意に基づき進めた。その都度説明してきたつもりではあるが、その時点での議会答弁と最終的な契約内容の相違についての説明不足があったことは反省する。

問 一連の経緯を町民に説明すべきと考えるが、町長の見解を問う。

町長 議会の総意なのであれば説明する。



予算審議と違っている契約書

大地の芸術祭の 費用対効果を問う

問 大地の芸術祭の費用対効果をどのように捉えているか。また、今後の考え方を問う。

町長 第9回展の総括で3か年の十日町市、津南町併せて総合効果97億9千3百万円。投資額が4億9千百万円に対し、来場者支出は93億2百万円なので、18倍以上となる。世界的情報発信力などの面で、芸術祭以上の力を持っている地域づくり手法は見当たらない。十日町市を抜きに津南単独ではできないので、十日町市と協議しながら今後もあり組んで行く。

人事

◆議会運営委員長

令和8年7月15日 選任

筒井 秀樹 議員

議会運営委員長として、先輩議員より『議員必携』にある「一歩離れ、二歩離れず」の教えを授けられました。単なる非難ではなく、改善案を伴う建設的な批判と監視で行政に対峙し、当局側にも町民にわかりやすい答弁を求めます。公平・客観的な視点を貫き、真に「開かれた議会」の実現と円滑な議会運営に挑みます。

◆広報特別委員会

令和8年7月15日 選任

関谷 一男 議員

議会広報特別委員会に空席ができ、私が務めさせていただくことになりました。以前とは議会だよりの作成方法が異なるようすが、ご迷惑をおかけしないよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

Committee Reports

委員会	
レポ	ート



産業建設常任委員会



建築協議会との懇談会

とき 令和8年2月18日（水）
ところ 津南町商工会2階

住宅関連の補助事業の活用状況、人口減少による空き家の活用対策など建築現場の専門的な分野から見た住まいの状況を伺い、意見交換を行った。

懇談会を終えて

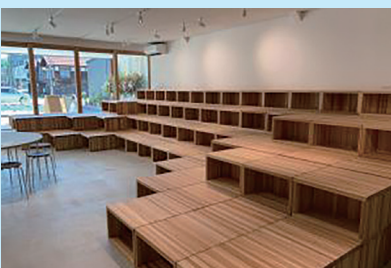
懇談会の中で住宅のことだけではなく、大雪の際の排雪場所の確保、町のホームページが見づらいなど多岐にわたる意見が出された。また、子育て支援など「若者が住みやすいまち」になると良いと皆さんが願っていたことに共感した。

担当 月岡奈津子

social gathering

津南町議員懇談会

だんだん
よくする



6月

ご意見

ニューグリーンピア津南に関する議会への意見（70代女性）

ニューグリーンピア津南の譲渡問題等に関し、町民の声が議会にしっかりと届いているのか疑問視する声が寄せられた。

ご意見

集会所施設「だんだん」のバリアフリー化要望（70代女性）

高齢者の利用において不便が生じているため、安全面の配慮として入り口へ手すりを設置するなどの改善が求められた。

9月22日（火）

13:00-17:30

村山郁夫議員
恩田稔議員

10月22日（木）

10:00-15:00

風巻光明議員
1名未定

8月22日（土）

10:00-15:00

滝沢萌子議員
桑原洋子議員



トーク
テーマ

津南病院について

毎回、懇談のテーマを決めていく予定です！どんな内容になるか楽しみに！

議案採決（表決）結果

令和8年第2回定例会

議案番号	件 名	表 決 状 況										採 決 結 果
		月岡奈津子	滝沢萌子	村山郁夫	関谷一男	久保田等	筒井秀樹	恩田稔	桑原洋子	吉野徹	石田タマエ	
同意第1号	津南町農業委員会委員任命の同意について (桑原京子 十二ノ木 平成26年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第2号	津南町農業委員会委員任命の同意について (中村敬二 宮野原 平成29年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第3号	津南町農業委員会委員任命の同意について (藤木司 谷内 新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第4号	津南町農業委員会委員任命の同意について (樋口則郎 船山 平成26年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第5号	津南町農業委員会委員任命の同意について (桑原幸枝 貝坂 平成26年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第6号	津南町農業委員会委員任命の同意について (藤木正光 米原 平成29年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第7号	津南町農業委員会委員任命の同意について (大平勝則 割野 令和5年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第8号	津南町農業委員会委員任命の同意について (島田洋 赤沢 新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第9号	津南町農業委員会委員任命の同意について (河田千春 亀岡 令和2年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第10号	津南町農業委員会委員任命の同意について (清水茂實 陣場下 令和5年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第11号	津南町農業委員会委員任命の同意について (樋口隆 反里口 新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第12号	津南町農業委員会委員任命の同意について (福原市雄 鹿渡 新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第13号	津南町農業委員会委員任命の同意について (涌井益夫 穴山 平成20年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第14号	津南町農業委員会委員任命の同意について (本山和美 反里 令和5年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第15号	津南町農業委員会委員任命の同意について (中山國廣 外丸 平成26年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第16号	津南町農業委員会委員任命の同意について (樋口正志 豊郷 新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第17号	津南町農業委員会委員任命の同意について (瀧澤章一 結束 新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
同意第18号	津南町農業委員会委員任命の同意について (半戸敬行 中子 令和5年～)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第47号	津南町子どもの医療費助成に関する条例の一部を 改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第48号	津南町子育て支援住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第49号	津南町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第50号	財産の取得について(避難所環境改善資機材)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第51号	損害賠償の額を定め和解することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第52号	令和8年度津南町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第53号	令和8年度津南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法(可＝賛成多数で可決等の場合、否＝賛成少数で否決等の場合)
●表決状況の記載方法(議員個々の賛否・賛成＝○、反対＝×、欠席＝欠、除斥＝除)・議長は表決に参加できません。

令和8年 第2・3回臨時会、第2回定例会

補正予算等の概要

第3回臨時会の概要

令和8年5月

第3回臨時会第10号

令和8年度一般会計補正予算(第3号)		
補正額	1,639万円	
総額	84億5,421万円	
【主な内容】		
歳入	繰越金増	1,599万円
歳出		
	町議会議員補欠選挙費	424万円
	病院整備費増	540万円
	文化センター空調設備更新工事	235万円
【主な内容】		
歳出	火災警報器更新費等増	1,626万円

第2回定例会の概要

令和8年7月

第2回定例会

一般会計補正予算(第4号)

補正額8,795万円

総額85億4,216万円

【主な内容】

歳入

地域未来交付金国庫補助金増1,598万円

ふるさと支援まちづくり基金繰入金増3,496万円

前年度繰越金増798万円

遺跡発掘調査受託事業収入643万円

緊急防災・減債事業債増2,910万円

歳出

石坂トンネル非常用設備改良工事費他増200万円

クアハウス修繕料他増151万円

除雪機械修繕料増1,700万円

小学校統合備品購入費増697万円

公民館設備整備工事他増2,910万円

遺跡発掘調査委託料増367万円

マウンテンパークリフト他修繕料増799万円

町債元金償還金増1,290万円

簡易水道事業会計補正予算(第1号)

【主な内容】

歳出

総係費報酬他増234万円

第2回臨時会の概要

令和8年3月

第2回臨時会公報文

令和7年度一般会計補正予算(第20号)		
補正額	1億2,076万円	
総額	91億8,222万円	
【主な内容】		
歳入		
地方交付税増	1億5,865万円	
国庫支出金	4,383万円	
県支出金	758万円	
寄付金	1億2,000万円	
繰入金	△3億1,351万円	
繰越金	1億405万円	
歳出	病院補助金増	5,000万円

令和8年度一般会計補正予算(第2号)

補正額	1,007万円
総額	84億3,707万円
【主な内容】	
歳入	
町債増	2,680万円
繰越金	△1,673万円
歳出	
ニュー・グリーンピア津南整備費弁護士委託料	500万円
地域おこし協力隊報酬	271万円



その他の令和7年度補正予算
(主な内容省略)

令和7年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
令和7年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
令和7年度津南町介護保険特別会計補正予算(第4号)
令和7年度津南町病院事業会計補正予算(第3号)